

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 7 区分
 【発行日】平成 18 年 4 月 27 日 (2006.4.27)

【公開番号】特開 2002-211830 (P2002-211830A)
 【公開日】平成 14 年 7 月 31 日 (2002.7.31)
 【出願番号】特願 2001-5322 (P2001-5322)
 【国際特許分類】

B 6 5 H 35/04 (2006.01)

B 6 5 B 57/00 (2006.01)

【F I】

B 6 5 H 35/04

B 6 5 B 57/00 H

B 6 5 B 57/00 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 3 月 13 日 (2006.3.13)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 4
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 4】

シート集積体生産システムにおいて下流側に配置される包装装置は、上流側の切断集積装置が所定枚数の切断を行う間に 1 回の包装を行う。また、多サイズ、多品種の生産を行なう場合には、迅速な切り替えが要求され、包装装置の大型化及び複雑化、高能力化が進んでいる。そのため、特公平 5 - 5 1 0 2 1 号公報記載の発明では、上流に切断集積装置を複数台並べ、1 台の包装装置に合流させている。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 1 5
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 1 5】

保護カバーと化粧箱とは、汎用ロボットによってハンドリングし、方向転換を行いながら複数の折り曲げ個所を順次仮折り、折り込みする。

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 3 4
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 3 4】

上記仮折りモジュール 3 3、折込みモジュール 3 4 は、生産される最大サイズの X 線フィルムに合わせた共通サイズの架台が使用されており、ボルト止めによって容易に追加、撤去、交換が可能になっている。また、シートハンドリングモジュール 3 0 とカバーハンドリングモジュール 3 1 の汎用ロボットは、チャック 4 4 と吸着パッド 5 5 とを生産する製品に合わせて交換することで、多品種、他サイズに容易に対応することができる。